

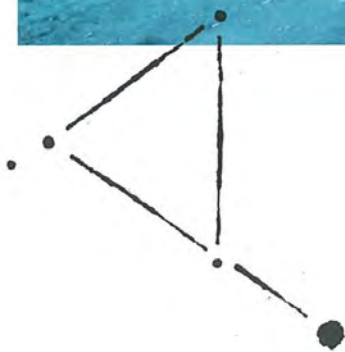
# ML

MODERNLIVING

モダンリビング 272号  
別冊付録



海と共に暮らす  
ホテルにもできる別荘をもとう



スモールラグジュアリーな  
時間と空間をあなたに届ける

# UMITO

異国のジャングルに迷い込んだかのような濃密な森林に埋め込むように建つ「UMITO 石垣島」。東シナ海側にあるクリスタルビーチに隣接。

## 計画中のUMITO 9件

全国の拠点相互利用できることはUMITOの大きな魅力。そんなUMITOはこれからも続々と増え続ける予定！北はニセコから南は石垣島まで、未来のデスティネーションをご覧に入れましょう。

# NEXT UMITO

Produced by リカルド・トッサニー

UMITO 石垣島

### リゾートの別荘&ホテルの名手を手掛ける、楽園のジャングルに建つヴィラ

設計 リカルド・トッサニー・アーキテクチャー

沖 縄各地で多数の計画が同時進行中のUMITO。なかでも石垣島は広大な敷地のなかにヴィラが点在する一大プロジェクトだ。まるでジャングルのような濃密な森林、そして目の前の深く青い海は、地上の楽園と表現したくなるほどの美しさ。このUMITOを手掛けるのは、リゾート地のラグジュアリーな別荘やホテルを数多く手掛けてきた建築家、リカルド・トッサニーさん。環境を生かしたトッサニーさんらしいマスタープランは、自然のスケールや造形と無理なく融合する心地よい構成になっている。森のなかをぬうように張り巡らされた各ヴィラへのアプローチは、体験したことがないエモーショナルな場。日常の1つにこの別荘があるというのは贅沢極まりない。

# RICCARDO TOSSANI



「リラックスできるのはもちろん、楽しむこと、記憶に残ること、意味のある経験を提供できるかが重要」

「建 築とマスタープランは切り離して考えることはできません。と同時に我々は建築設計事務所ですので、一つひとつの敷地を分析し、そこに適した建物を具体的に想定してから、その点と点のネットワークをどのように構築していくかということでもマスタープランニングを提案します。例えば沖縄では、海の前という敷地の特性とそこに根付く文化、訪れる人々をイメージしながら、さらにUMITOというシステムも考慮して検討しました。沖縄とニセコというまったく環境の異なる場所です」

プロジェクトが進んでいますが、基本的な考え方やビジョンは同じです。どちらもリゾートという共通性もありますので、リラックスできる空間であることはもちろん、楽しむこと、記憶に残ること、意味のある経験を提供できるかということも重要だと考えています。そのためには、驚きや発見も大切な要素。海や山、ジャングルといった周囲の自然環境を空間に取り込んだり、もしくは経験として取り入れることを意識しています。プロジェクトごとに個性が違いますので、楽しみにしていてください」

**Profile**  
建築家 リカルド・トッサニ  
1957年オーストラリア生まれ。ハーバード大学大学院都市計画建築デザイン修士課程修了。97年リカルド・トッサニ・アーキテクチャー設立。日本、欧州、米国、豪州と国際的に活躍。

## 建築家 リカルド・トッサニさんと 複数プロジェクトが進行中

北海道と沖縄本島・離島と、日本の南北両端で進むプロジェクト。  
気候も文化も正反対の場所の両方でトッサニ建築を楽しむのは  
UMITOのシステムだからできる贅沢です。

北海道

CASE 10



UMITO ニセコ | p.39掲載



沖縄県

CASE 09



UMITO 瀬底島 | p.39掲載



宮古島

CASE 08



UMITO 宮古 サンクタム | p.38掲載  
UMITO 宮古 サンセットビーチ | p.38掲載  
UMITO 宮古 ダイヤモンドヘッド

石垣島

CASE 07



UMITO 石垣島 | p.34掲載



Produced by リカルド・トッサーニ

UMITO 瀬底島

海だけではない、沖縄の大地の魅力を印象的に取り入れて

設計 / リカルド・トッサーニ・アーキテクチャー

**本** 島から車でアクセスできることから、瀬底島は気軽に訪れることができる離島として親しまれている。敷地は瀬底大橋のたもと付近で、目の前はもちろん海。海を主役に建てるのがUMITOらしいといえる一方、この地のもう1つの主役が崖側に見える野趣あふれる琉球石灰岩の岩肌。海があるのは当然ともいえる沖縄だからこそ、この土地ならではの岩肌を大事にした建物に

しようと、建物は崖を取り込むように配置。あえて自然環境に対して受動的なデザインにまとめている。エントランスアプローチは岩肌に沿った路地のような通路で、部屋に入ると海に向かってダイナミックに開放。このコントラストもトッサーニさんらしい仕掛けだ。

1 瀬底大橋側の真っ青な海と、背面の琉球石灰岩のワイルドな景色。建物の両サイドをガラス張りにし、敷地そのものの魅力を体感できる空間に。



Produced by リカルド・トッサーニ

UMITO ニセコ

マスタープランから手掛けたニセコ。今では貴重な温泉付きのヴィラ

設計 / リカルド・トッサーニ・アーキテクチャー

**南** 国での企画が増えるなか、トッサーニさんのお膝元ともいえるニセコにも進出することになったUMITO。ニセコといえばトッサーニさんといわれるほどの存在感は大きく、マスタープラン、プランディングもすべて彼によるものといっても過言ではない。ニセコを知り尽くしているからこそ、UMITOの考え方もユニーク。現在ヒラフ中心地で温泉付きヴィラがつくれるのは限

定的ながら、今回の建物はすべて貴重な温泉付き。羊蹄山を望むビューと共に、プライベートに配慮したプライベート温泉が大きな魅力となっている。外観、内装共に正真正銘のラグジュアリーでありながら、ウェルカミングで温かな雰囲気も。この見事なバランスもトッサーニさんならでは。

1 ニセコの中心地、ヒラフに建つ「UMITO ニセコ」。どの部屋も大開口から羊蹄山が望める。2 谷側の崖地という見晴らしのよいロケーション。



UMITO 宮古 サンクタム



1 部屋のなかからは穏やかな七光湾の海と共に、モダンアート「プライマルリズム」を望むという特別なロケーション。2 ホテル棟は貝殻のような扇状の建物。有機的な形状が建物の建つ湾の地形とよくなじむ。手前の三角形の建物はプライベートヴィラで、ホテルとの2棟構成で計画。3 ホテル棟からもアートと海を楽しめる。

Produced by リカルド・トッサーニ

UMITO 宮古島

ステイからウエディング、パーティまで、複数物件を使ったUMITOの進化系

設計 / リカルド・トッサーニ・アーキテクチャー

**沖** 縄本島と台湾の中間に位置する宮古島では複数のプロジェクトが進行中。現在紹介できる3カ所のなかでも、七光湾に建つ「宮古 サンクタム」(上)が中心的な存在となる。世界的アーティスト、森 万里子氏が手掛けたアートピース「プライマルリズム」を望む立地であり、真珠の養殖所の名残を感じる重要なスポット。

真珠貝を彷彿させる扇状の建物が新たなシンボルになりそうだ。そこから南下した海沿いに「宮古 サンセットビーチ」(下)と、東海岸の崖上に「宮古 ダイヤモンドヘッド」(画像なし)。さらに他のエリアにウエディング機能を備えた建物も構想中。複数のUMITOを利用しながら、日常の先にあるセレモニーも含めて過ごせる場所を計画している。



4 宮古島の開港津海岸沿いのビーチ前に建つプライベートヴィラ。5 部屋から見えるのはまさに海だけ。誰にも邪魔されことなく心ゆくまでリラックスできる場所。